

長沼白熱教室 Let's make NAGANUMA better for our children

子どもたちのため、舞鶴遊水地やタンチョウを活用し
より魅力ある地域づくりを考える意見交換会を実施

- 開催日時：平成28年12月10日（土） 10：15～12：15
- 実施場所：ながぬま温泉 別館3階 37号研修室
- 参加者：約30名（協議会委員、長沼町民代表、
長沼町、札幌開発建設部、日本生態系協会 等）



開催状況

長沼白熱教室の様子

冒頭”舞鶴遊水地にタンチョウを呼び戻す会”の加藤会長から「皆さんと相談しながら、よりよい遊水地の利活用と子どもたちの将来のために活動していきたい」との挨拶がありました。その後、協議会の取組経緯、舞鶴遊水地及びタンチョウとの関わり方についての意見交換、希少鳥類を活用した地域づくり先進事例の報告（兵庫県豊岡市、新潟県佐渡市、北海道鶴居村）を行いました。



加藤会長の挨拶



先進事例の紹介

意見交換会

「次の世代の子どもたちのため、地域資源を活用し、長沼町をより魅力あるまちにする方策」をテーマに、4班に分かれてグループディスカッションを行いました。

- 子どもたちの教育に止まらず、広い世代の協力者を増やすことが重要
- 農業者自らが先進事例を学び、意識改革することが必要
- 農業者・消費者それぞれが本物志向になることが重要
- 農業について考える良い機会になるのでは
- 環境を守りつつ農業に取り組む姿を子どもたちに見せることで、魅力ある環境保全型農業の取組を進めていくことができるのでは
- 反対される方には、意見を受け止めつつ、丁寧に対応することが重要。
- タンチョウも住める自然環境、社会環境をつくることが重要 等



4班に分かれたグループディスカッションと発表の様子



小磯先生からは、「農業者の取組との関わり方が大きなキーワードとして出てきた」、「先進事例から何を学ぶのか、今日のような場を通じ、学ぶ視点・姿勢を身につける事が重要」との講評がありました。



小磯委員の講評



戸川町長の閉会挨拶